里山の水稲栽培

～つながりを、つなぐ。ゆうきハートネットの取組み～

和ごころ農園
伊藤 和徳（1978年生まれ）

NPO法人ゆうきハートネット
副理事（事務局長）

2児の父
2010年2月新規就農
無肥料自然栽培でお米・露地野菜を育てる
岐阜県有機農業アドバイザー

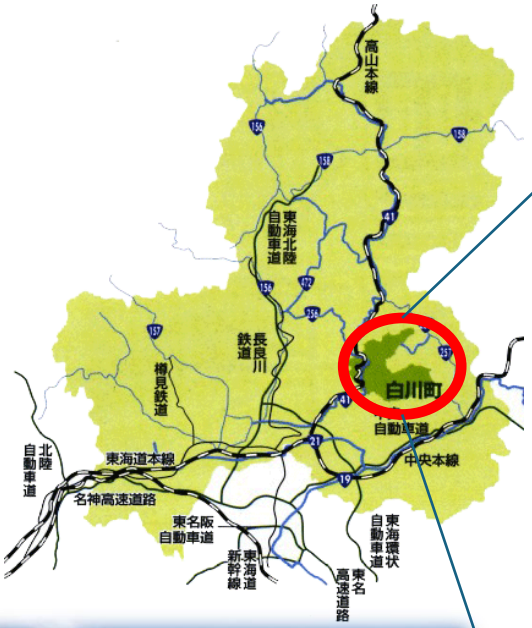
2014年
人生を変えちゃう深い農業体験を開始
2021年
里山のサウナ主宰
2023年
里山循環型茶業、「日々茶焙」立ち上げ

サウナ•スパプロフェッショナル
方眼ノートトレーナー
好きなお茶：三年晩茶

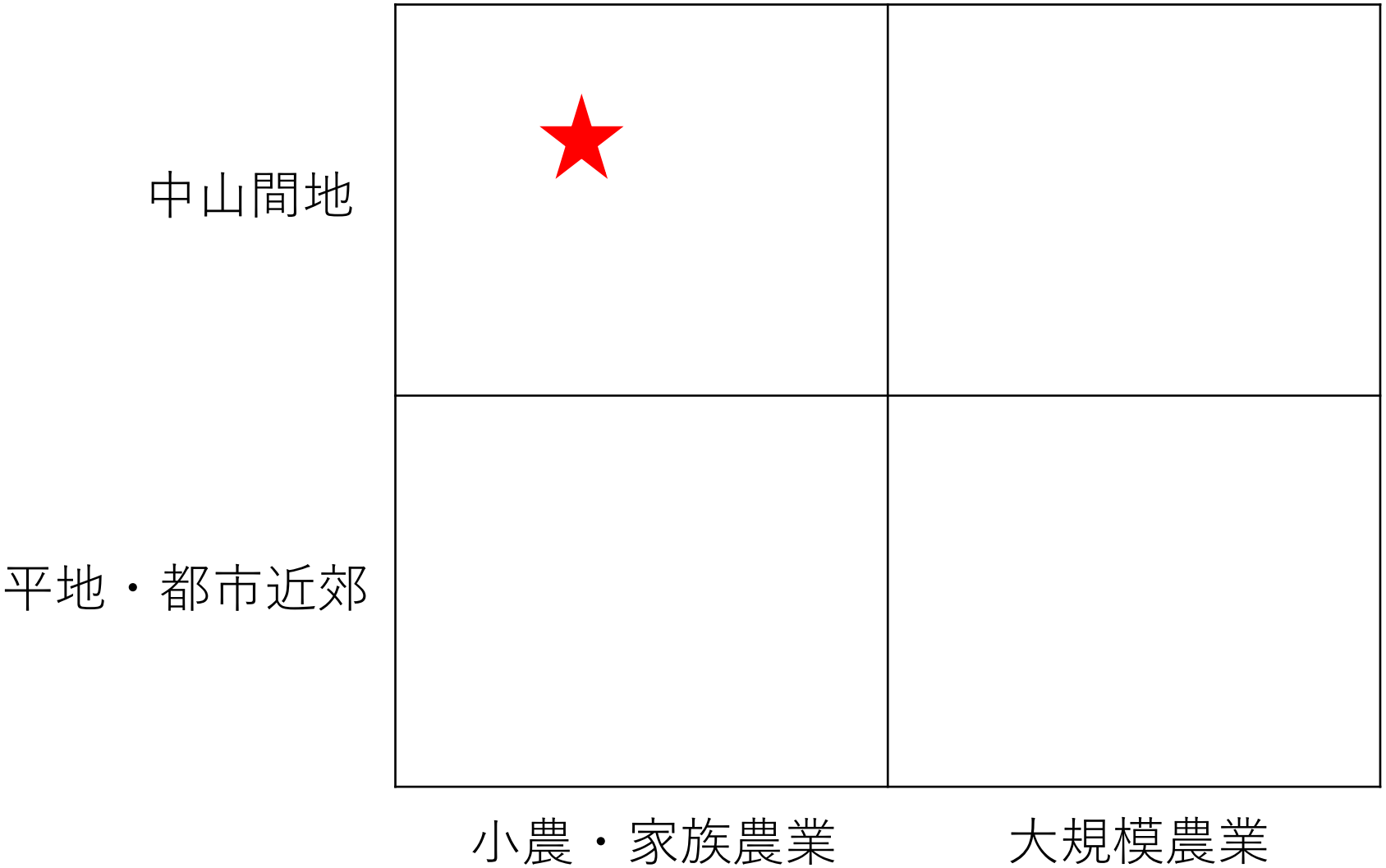
白川町の概要

人口　6707人（2026年1月1日）
高齢化率岐阜県No.1（48.1%）

総面積	23,789ha	
森林	20,787ha	（87.4%）
農地	862ha	（ 3.6%）
宅地	271ha	（ 1.1%）
その他	1,869ha	（ 7.9%）



今日のお話の前提条件



天地機有

天地（あまつち）に機、有り

天地（自然界）には目には見えない
システム・生態系のバランスがある

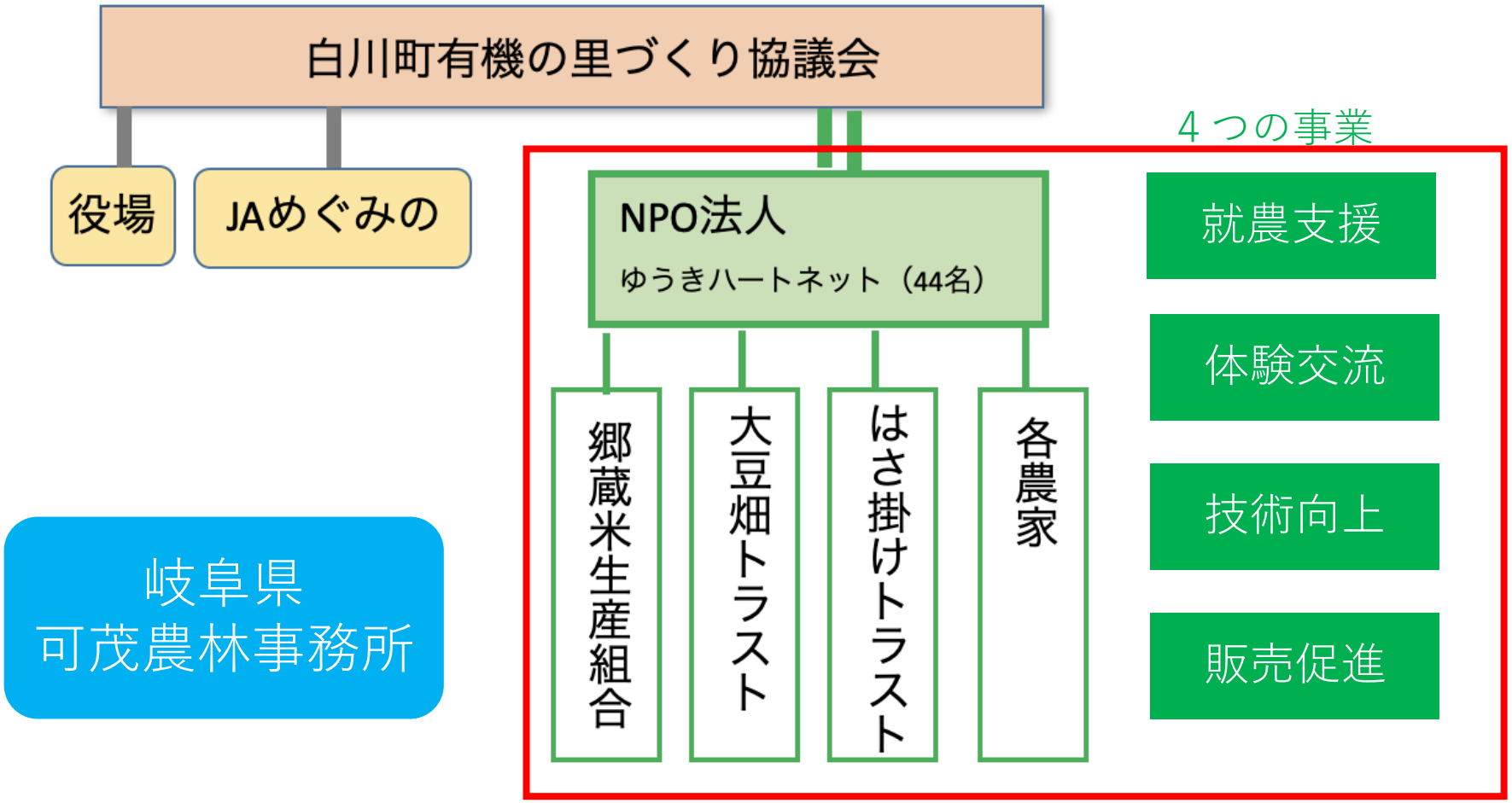
こういう視点を大切にする農業＝有機農業

NPO法人　ゆうきハートネットの成り立ち

流域自給というつながりを持つこと
＋
生き物へのまなざし。生き物がお米を育てている

共感を生んで仲間を呼び組織となり、
４つの事業が生まれる

白川町の有機農業実施体制



取り組みたい人の応援・サポート体制

（2010年～）

ゆうきハートネットの水稲栽培の変遷

平成１０年　有機農業の生産技術研鑽を目的として設立（任意団体）

平成１５年　有機稲作の学習と実践（共同で苗作りその後の情報交換）**民間稲作研究所方式**（稲葉氏より）

平成２３年　NPO法人化
本格的に就農希望者の就農定住支援を開始

令和元年　**自然農法国際開発センター**　三木氏による連続講座

令和５年３月　オーガニックビレッジ宣言
（令和４年度～６年度　有機農業産地づくり事業）

ゆうきハートネットの水稲栽培の実態

- 町内会員農家　３５軒
- 水稲有機栽培面積　約１４ha
- 学校給食　月２回　（１回　５６kg）

白川町のみどり戦略

白川町有機の里づくり協議会

目指す姿

個々の農業から

地域連携の有機農業へ

白川町の有機農業を点から線へ、
そして面として盛り上げていくために

①地域農業としての有機農業の可能性調査

様々な関係者とつながりをもつ

②循環システムの構築

未利用資源と流通網でつなぐ

③新しいVISIONのPR・普及活動

エリアの発信

白川町のみどり戦略（水稲）

①有機って草取り大変だし、収量落ちるでしょ？

②地域の未来は子供たち。地域ぐるみの食育授業とは？

③農法による分断を生まず、地域の農地を守っていくには？

白川町のみどり戦略（水稲）

①ICTの導入検討（グリサポ）

②地元小中学校での食育授業

③営農組合組織との対話

①ICTの導入検討（グリサポ）

farmoの水位センサー、水栓バルブの導入

新規就農者の田んぼは点在する傾向にあり、水位センサーによる、水位管理の省力化を図る

生育状況に合わせた水位管理がどこまでしやすくなるのか、の検証

▶水位センサーの位置、畦草の管理が大切

▶測定値の実測値に相違あり。自分の目での観察は重要

▶均平、畦塗りなどの基本的な圃場管理が必須

②地元小中学校での食育授業

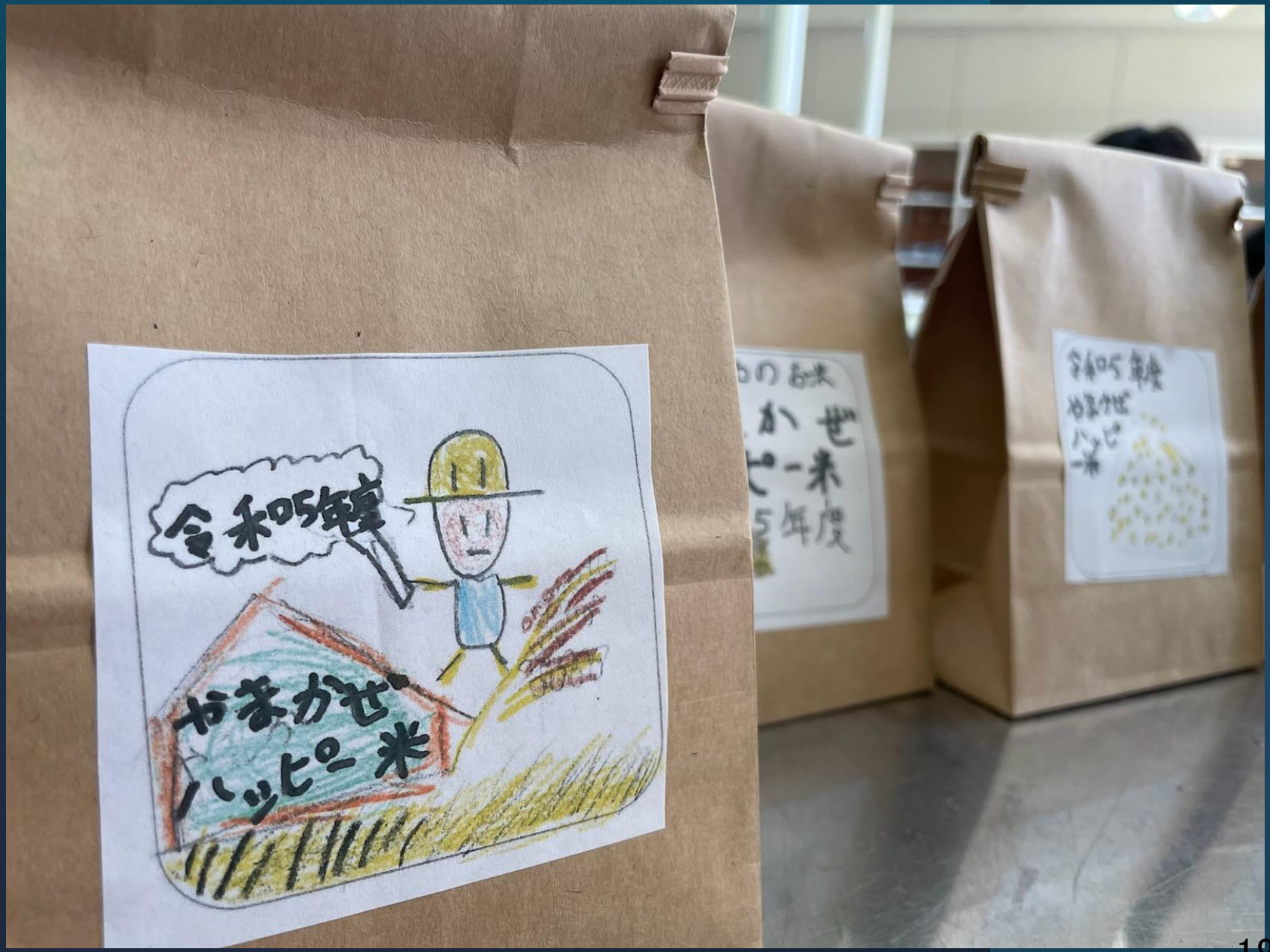
黒川小学校、佐見小学校の総合学習の時間で実施

・田んぼの事前学習

・環境教育と連携した生き物調査

・火おこしからのかまど炊きごはん

・黒川ならではのネーミング米、誕生！


令和05年度
やまかぜ
ハッピー米

③営農組合組織との対話

地域農業を持続可能にするには？

もし少しでも有機栽培に転換することに
つながるとしたら、何がクリアできると進む？

・営農組合組織との対話
・有機栽培に向けた勉強会への共同参加
・除草技術の実演

営農組織との有機農業のあり方調査（2022）

法人営農組織と懇談会
（白川町黒川地区）

第１回　7月28日
第２回　12月14日
第３回　3月1日

<u>課題</u>
営農：担い手不足
ゆうき：フレキシブルな農地の貸借（農地不足のため）

営農組織の方と一緒に有機栽培をする圃場の設置へ
前向きな動きとして今後とも情報共有を続ける

2023.6.28
みのる産業さんのご協力で
除草機実演会

営農組織とゆうきハートネットのメンバーで水稲勉強会
（8/31 白川町黒川地区）
（公財）自然農法国際研究センター

営農組織とゆうきハートネットが円卓に座って、建設的な対話ができる素地ができた

土地を荒らしたくない想いが強い地元の方と寄り添える取組みの模索がスタート

営農組合が管理している田んぼの一部を有機栽培へ転換の可能性が出てきた

ゆっくり、いそげ

未来に向けて・・・

３つのことが関係し合って、
本当の意味で豊かな田んぼを残していきたい。

深いところでつながれるような、人の意識改革、気づきの醸成を続けていく

ご清聴ありがとうございました